

ベビーかろーれ川越 保育士自己評価結果 令和4年度12月実施 保育士 常勤3人・非常勤5人

1) 保育の理念・保育観 該当する番号に○をつけてください。			よくできている	できている	努力が必要	該当なし	③に○をした方は、何を努力するかわかる範囲でご記入ください。
保育の理念・保育観	1	あなたは、すべての子どもについて、一人ひとりの存在とその人権を尊重していますか	5	3			
	2	児童福祉法の理念に基づき、子どもの最善の利益を考慮して、子どもの生活と健全な発達を保障することが保育園の重要な使命だと理解していますか	5	3			
	3	あなたは、日頃から「保育所保育指針」をよく読み、その理念を理解したうえで、保育内容や保育方法を考えるときのガイドラインとしていますか	1	5	2		改定後の指針を読み返し、保育に取り入れる。指針を読み込む。
	4	あなたの保育が、子どもの生涯の基礎を培う極めて大切な役割を担っていると認識していますか	5	3			
	5	あなたは、保育所保育は養護と教育が一体となって行われている、ということを意識して保育していますか	4	4			
	6	今日の保育園には、入園している子どもの保育だけでなく、ひろく地域の子育て支援をする社会的役割があることを認識していますか	5	3			
	7	あなたは、子どもに、文化や生活習慣、考え方方が多様であることを知らせ、それらを尊重する心を育てるよう努めていますか	4	4			
	8	子どもの性差や個人差にも留意しながら、固定的な性別役割分業意識を植え付けることのないように配慮していますか	5	3			
	9	あなたは、日頃から、子どもに身体的苦痛を与えることなく精神的苦痛を与えることがないようにしていますか	5	3			
	10	あなたは、個人情報の保護に配慮し、子どもやその家庭についての秘密を正当な理由なく漏らすことがないようにしていますか	6	2			
	11	あなたは、「子ども・子育て応援プラン」に、若者の就労支援や男性の子育て参加等が盛り込まれていることを知っていますか。	1	6	1		内容がどのようなものか調べる
	12	様々な特徴（障害）を持つ子も持たない子も、一人ひとりのありのままの姿を受けて、地域のすべての子どもが健やかに成長することを願って保育をしていますか	6	2			
	13	育児の考え方について、保護者とあなたとが食い違っているとき、必ず相手の気持ちを受けて、話し合い、その保護者の立場や考え方を理解するよう努めていますか	6	2			
	14	子どもの家庭状況は多様だという考え方の上で、今、その子に何が必要かを見極め、それぞれにとって適切な援助をしていますか	4	4			
	15	子どもが熱中しているときは、そのときの保育の内容や流れに変更が生じても、危険のない限りその活動を見守るなどの柔軟性をもっていますか	5	2	1		色々な角度から物事を考える力を身に着けたい
	16	あなたは、子どもと一緒に思い切り体を動かして遊ぶことの重要性を理解し、楽しんでいますか。	5	3			
	17	あなたは、一人ひとりの子どもに目が行き届いていたか振り返り、これから保育の課題をみつけることができますか	3	3	2		入社したばかりのため努力を続けている。課題のままにせず、しっかりと振り返りをする。

2) 保育の内容 該当する番号に○をつけてください。			よくできている	できている	努力が必要	該当なし	③に○をした方は、何を努力するかわかる範囲でご記入ください。
保育計画・指導	18	あなたは、指導計画を作成するとき、「保育所保育指針」を読み、参考にしていますか	3	2		3	
	19	保育園の方針である保育計画をもとにして、指導計画を作成していますか	4	1		3	
	20	保育には指導計画（年・月・週・日案など）の作成という予め見通しを持った計画性が必要だと思いますか	4	1		3	
	21	あなたの月・週案などには、教育的側面（五領域の視点）だけでなく養育的側面（基礎的事項）もしっかり盛り込まれていますか	3	2		3	
	22	あなたは、指導計画を作成するときに、地域の実態や保護者の意向・希望などを考慮していますか	3	1	1	3	地域の実態があまり理解できていないので実態を調べる
	23	子ども一人ひとりの発達の姿や興味の対象の実態を把握して、月・週案などを作成していますか	3	2		3	
	24	あなたの月・週案などには、子どもの意欲を誘う環境構成が十分工夫されていますか		4	1	3	導入部分に欠けているところがあるため努力が必要

計画	25	複数担任の場合、お互いの考えを十分理解したうえで、月・週案などを立てていますか	1	4		3	
	26	園の保育理念や方針。目標、あなたの作成した年・月・週案などのねらいや内容を、保護者にわかるように説明できますか	2	2	1	3	伝えたいことがうまく伝わらないことがあるため、努力が必要
	27	あなたは、季節感や日本の伝統的な行事などを指導計画のなかに取り入れるようにしていますか	4	1		3	
	28	月・週案などが、実際の子どもの姿、興味・関心に合っていたかという視点から自分の保育を評価・反省していますか	3	2		3	
	29	月1回以上、自分自身の指導計画の点検・評価を行い、次の指導計画に生かしていますか	3	2		3	
乳児保育	30	あなたは、一人ひとりの子どもの出生時の状況、その後の発育・発達など、生育歴を細かに把握するとともに、保護者の状況などの背景も理解していますか	5	3			
	31	哺乳瓶の消毒、調乳、沐浴の仕方など基本的な事柄や、子ども一人ひとりの健康状態などを、随時職員相互で確認し合っていますか	5	3			
	32	授乳について、その子が欲しがる時にやさしく抱いて微笑みかけ、ゆったりと飲ませていますか	5	3			
	33	離乳食は、家庭と連携をとりながら、一人ひとりの育ち具合やその日の体調に合うよう工夫していますか	4	4			
	34	その子にとって初めての食品を食べさせたときは、皮膚や便性などに異常がないか観察していますか	5	3			
	35	おむつ交換は「きもちいいね」などとやさしく声をかけたり、マッサージしたりして、排便の回数、便性を把握して臀部を清拭していますか	6	2			
	36	赤ちゃんの目の動き、泣き声、しぐさ、片言をメッセージとして受けとめ、ほほえみ、要求に応じる言葉をやさしく返していますか	6	2			
	37	子どもを外気に触れさせたり、適度な戸外遊びをさせたりして、健康増進をはかるようにしていますか	5	3			
	38	哺語には、ゆったりと応えたり、やさしく話しかけたりして、発語の意欲を育んでいますか。	5	3			
	39	絵本を見せながら、その子の指さすものに答えたり、やさしい言葉を添えたりして、あなた自らもそのやり取りを楽しむことができますか	6	2			
	40	あなたがどんな状態にあるときにも、赤ちゃんの笑顔やしぐさをかわいいと感じることができますか	6	2			
	41	あなたは、自分の服装の色合い、頭髪・爪などの清潔や、室内の清潔にも配慮していますか	5	3			
	42	寝返りができない乳児を寝かせる場合には、仰向けに寝かせるようにするとともに、睡眠中の姿勢、かけぶとん、呼吸等の確認をしていますか	5	3			
	43	一人ひとりの生活リズムや欲求、その日の体調等を把握した上で、睡眠の時間を調節したりする柔軟性を持ち合わせていますか	5	3			
	44	連絡帳を活用するなどして、保育園以外での子どもの様子も把握するように努めていますか	4	4			
保健	45	大勢の子どもを保育するときでも、あなたを独占したがる子どもの気持も十分に満たすなど、子どもの背景に配慮しながら、個別対応の努力や工夫ができますか	4	4			
	46	「できない、やって！」と甘えてくるときは、その都度、その気持を受けとめ、一人ひとりの発達に応じて要求を満たす援助をしていますか	3	5			
	47	あなたは子どもの「これなーに?」、「どうして?」などの繰り返しの質問に、忙しいときでもできるだけその都度答えようとしていますか	3	5			
	48	探索活動が十分行えるよう、安全にはよく気を配りつつ、環境を整えたうえで、子どもが要求する行動を容認できますか	4	4			
	49	着替えや食事などの時には、その子に応じた手助けやことばかけをしながら、時間を要しても自分からしようとする気持を大切にしていますか	5	3			
	50	食べ物をこぼしたり汚したりしながらも、子どもが自分で食べる意欲を育てるために、楽しい雰囲気で食事ができることを第一に考えていますか	5	3			

1・2歳児保育	51	子どもがおもちゃの取り合いなどでぶつかり合うとき、危険のないよう配慮しつつ、子どもの発達の程度や心の動きを考えながら、しばらく見守ることができますか	5	3			
	52	「おや、何だろう?」、「これで遊ぼう」と好奇心や興味を引き起こす教材や素材、場を用意する心配りをしていますか	2	6			
	53	散歩の時、保育者も一緒に楽しみながら、花や葉、虫や動物などを見つけたりして、子どもとともに自然物や動物への興味・関心をもつことを大切にしていますか	5	3			
	54	子どもと会話をするときに、その子の目線に合わせて話をゆっくり聞いて、子どもの話したい気持や伝わった喜びを共感していますか	5	3			
	55	あなたは、自分の表情に配慮しながら、子どもにわかるように、ゆっくり、はっきり、おだやかに、具体的な短い言葉で語りかけていますか	3	5			
	56	子どもに「絵本を読んで」、「遊んで」と言われた時に、場面に応じて「待って」と言った場合にも、その理由を伝え、その子の気持に応えていますか	3	5			
	57	歌を歌ったり、リズムにのって体を動かすとき、あなたは歌や動きを子どもに合わせ、一緒に楽しむことができますか	5	3			
	58	わがままで「いやだ」という子どもの内面に配慮しながら、その子の気持を肯定的な方向に向けるようにしていますか	4	4			
	59	自分の思いどおりにならず、おこったり泣いたりする子どもに対して、ていねいに話してきかせたり、気持を切り替える時間をとり、ゆったりと待つことができますか	3	5			
	60	あなたは、園が從来から続けてきた「行事」について、その意味について十分に考えてから、保育の中に組み込んでいますか	5	3			
行事	61	「行事」を保育に取り入れるときには、それが子どもの健やかな育ちにつながる意味をもつことを意識していますか	5	3			
	62	みんなで楽しむとともに、一人ひとりが十分に自分の力を発揮できるような「行事」となっていますか	5	3			
	63	あなたは、子ども達にとってその季節や時期にしか味わえない有意義な体験となるよう「行事」に工夫を凝らしていますか	3	5			
	64	子ども達が期待をもって「行事」に参加できるよう、年間計画の段階から子どもの主体性を尊重する保育場面を用意していますか	4	3		1	
	65	「行事」に参加することを嫌がる子どもには、その気持をくみ取って、行事の中でその子が活動できる場面を用意していますか	4	4			
	66	保護者が参観する「行事」のときには、保護者の評価にあまりとらわれず、日常の子どものありのままを見てもらう気持のゆとりをもっていますか	4	4			
	67	あなたは「行事」が、子どもの生活や遊びから発展していくように、日常の保育の積み重ねの結果となる心がけていますか	4	4			
	68	保護者や地域住民にも参加してもらうような「行事」については、園だよりや広報紙等で事前にその趣旨を説明し、理解や協力を要請していますか	1	6		1	
	69	子どもも保護者も期待感をもつ「行事」には、あなた自らも喜んで、余裕をもって参加できていますか	5	2	1		余裕が持てていないので、もっと余裕が持てるように取り組む
	70	長時間にわたる保育を受ける子どもには、特に畳やカーペットで寝転ぶことができるようにするなど、家庭的雰囲気に配慮していますか	1	6	1		畳やカーペットがない
延長保育	71	次々にお迎えが来るなかで、「ママ来ないね」のつぶやきに対して、子どもの気持を受け止めて、安定した気持で待つことができるよう適切な対応をしていますか	4	2		2	延長保育の時間に保育に入るところがない
	72	あなたは延長保育で、一人ひとりが好きな遊びができるように配慮していますか	3	2	1	2	人数によっては配慮ができるないので配慮が必要
	73	延長保育の子どもには、担任でなくとも、園での様子が保護者に十分伝わるよう、連絡帳やおたよりを活用していますか	4	4			
	74	延長保育の時間帯には、とりわけ異年齢の子ども同士で遊べるような工夫をしていますか。	5	3			
	75	身長・体重等の測定や医師の診断から、発育・発達の状態を把握して、それを保護者や他の職員に伝えるとともに、日常の保育に生かしていますか	3	5			
	76	その子の体調の些細な変化や異常に速やかに対応するために、日常的な体調や機謙の状態をつかむよう努めていますか	5	3			

保健活動・安全管理	77	あなたは、子どもに何らかの異常がみつかった場合、より適切な処置ができるように、嘱託医の指導を受けるなど日頃から学習をしていますか		7	1		指導を受けることは実際にできていないので日頃から学習が必要
	78	あなたは、健康観察で子どもの健康状態をある程度判断することができますか	3	5			
	79	子ども一人ひとりの体調をしっかり把握し、食事の量や内容を変えるなどの配慮をしていますか	4	4			
	80	あなたは、睡眠中の子どもの顔色、呼吸の状態を観察するなど、SIDS等への予防に努めていますか	5	3			
	81	アトピー性皮膚炎・食物アレルギー等の子どもに対して、医師の指導のもとに適切な対応をしていますか	4	4			
	82	あなたは、日頃から虐待の早期発見を心がけ、虐待が疑われる場合には、園長に伝えるなどの防止策を考えていますか	5	3			
	83	備品棚やピアノなどの転倒防止、その他事故が起こらないように、あなたの保育室内外の安全点検を、毎日怠らないように努めていますか	3	5			
	84	園庭にガラスの破片など危険なものがないか調べたり、砂場を掘り返して整えるなど、安全な環境づくりの努力をしていますか	3	4	1		整える頻度が少ないので、努力が必要
	85	地震等の災害や火災に備え、積極的に避難訓練等に参加し、非常災害時にあなたが何をしなければならないか理解していますか	4	4			
	86	登降園時の事故防止について、保護者が何を注意すればよいか、あなた自身が説明することができますか	3	5			
	87	そのまま見過ごしたら明らかに危険な行動には、理由を説明して「いけません」、「やめなさい」などの言葉ではっきりと制止していますか	5	3			
	88	不審者が侵入した場合に備えて、子どもの安全を確保するための対応策を日頃から心がけ、職員間で話し合っていますか	4	3	1		備えについてあまり話会っていないのでもっと詰合いで必要
保護者・地域社会・関係機関との連携	89	園での様子を伝え家庭での様子を聞くなかで、子どもの育ちを保護者とともに、考え、喜びあうことができますか	5	3			
	90	その日の子どもの健康状態や興味をもった遊びなど、必要に応じてお迎え時に保護者に丁寧に伝えるように努めていますか	4	3		1	お迎え対応をすることがない
	91	保護者から突然、お迎えが遅くなると連絡があった時にも、快く応対するよう努めていますか	4	4			
	92	保護者が育児の悩みや心配事を話してみたくなり、一緒に考てくれる存在であると思えるよう、あなたはこちらからすんぐで触れ合ふことを心がけていますか	4	4			
	93	たとえあなたの保育に批判的な保護者であっても、対立せずに受容し、意見や要求を聞こうとする姿勢がもてますか	5	3			
	94	あなたは、保育に関する保護者の考え方や提案を積極的に聞き、保育の流れの中で適切と思うものについては、園長や主任と話し合ったうえで受け入れるよう努めていますか	3	5			
	95	保育園が、保育参観だけでなく時には保護者に保育参加（保育に直接加わる）をしてもらう方針を決めた場合、協力できますか	5	3			
	96	あなたは、連絡帳を、保護者がその内容をよく理解でき、楽しみにするような書き方をしていますか	4	2	1		解釈が違ってしまうことがあったため理解できるような内容を書けるようにする
	97	保護者同士が相談相手になれるよう、お互いをよく知り合う機会を多く設ける努力をしていますか	1	5	1	1	
	98	地域の人たちによるボランティア活動などをどのように保育に組み入れたらよいか、職員間で話し合うとともに、あなた自身もきちんととした見通しをもっていますか		6	2		ボランティア活動について等の見通しができていない。コロナ禍で地域の方との交流がないため、努力が必要
	99	老人会、町内会など地域組織と連携するとき、保育士としてどういう役割を担うべきか、考えたことがありますか		6	2		
	100	あなたは、保育園が地域の中学生・高校の生徒との交流をしたり、実習生を受け入れるときに、めんどうがらずに指導することができますか	2	5		1	実習生等を受け入れたことがない
	101	散歩や行事などで、子どもたちが地域の人々と触れ合う機会をもつようになるとともに、気持ちよくあいさつをかわしていますか	6	2			

	102 地元の公共機関を利用するなど、地域の人々にかわいがられて、子どもたちが豊富な社会体験を得られるようにしていますか	3	3	1	1	
	103 公園などの公共の場を使用した後は、あなたは子どもたちと一緒に清掃するなど、気を配っていますか	3	4	1		
	104 あなたは言葉が通じない外国人に、戻込みしないで身ぶり手ぶりでも対応できますか	2	5	1		
地域の子育て支援	105 あなたは、日頃の保育内容、子どもたちへの保育方法のすべてが、地域の子育て支援につながることを自覚していますか	5	3			
	106 あなたは、保育園には子育て相談などの「地域の子育て支援」という役割が求められていることを受け止め、自分も積極的にかかわりたいと考えていますか	5	3			
	107 あなたは、相談の基本原理（受容・相互信頼関係・個別性・自己決定・秘密保持）について理解し、子育て相談の実践に生かしたいと考えていますか	4	4			
	108 あなたは、本来業務の保育に支障がない限り、電話相談などの子育て支援を行いたいと思いますか	2	5	1		
	109 あなたは、子育て相談を実施する際に連携すべき機関等（保健センター・児童相談所・福祉事務所・医療機関等）の機能についてよく知っていますか	4	4			
	110 あなたは、子育てサークル・子育てボランティアの育成・支援に関心があり、勤務園が実施するときには、協力するつもりですか	5	3			
	111 保育園が発信源になって、園の保護者以外にも子育ての大切さや喜びを伝える役割を担っていることを理解していますか	5	3			
	112 園長や主任の指示がどういう意図で出されているかわからないとき、あなたは質問をしたり意見を言ったりできますか	5	2	1		
保育園の職務・役割分担	113 園長や主任などと意見が合わないとき、十分に話し合ったうえで、あなたは上司の指示に従うことができますか	5	3			
	114 登園を嫌がることが続くなど、問題を感じたとき、あなたは園長や主任、先輩保育士などに、その原因や対策のしかたを相談していますか	5	3			
	115 あなたは、職員会議で必要と思う質問や意見をはっきり発言することができますか	4	3	1		
	116 職員会議等で自分の意見や考え方と違う結論が出たときも、それに従って気持よく協力し、実行できますか	5	3			
	117 栄養士など保育士以外の職種の人たちが保育にかかわるとき、その人たちへの気配りや協力関係に配慮するとともに、保育士としてのあなたの役割が何であるか理解していますか	5	3			
	118 あなたは保育士として、他の職種の職員やパートの人たちにどんな役割を果たしてほしいか、具体的な期待をもっていますか	4	4			
	119 あなたは、勤務を休んだ日の出来事や連絡・注意事項は、自分から尋ねて理解するなど、職員間の連携に努めていますか	5	2	1		
	120 あなたは、自分のクラスの教材や備品を、責任をもって毎日点検・管理していますか	1	7			
	121 あなたは、たとえ自分のクラスのものでなくても、教材・教具などの管理が不備であれば、自らすんで整えることができますか	4	4			
	122 あなたの本来の業務以外に保育園にかかわる仕事を頼まれたとき、それも職務の一端と考え、責任をもって引き受けていますか	4	4			
保育士としての資	123 あなたは、保育士としての責務と誇りを自覚して、人間性と専門性の向上に努めていますか	5	3			
	124 あなたは、自分の保育を振り返り、問題点や課題をみつけることができますか	5	3			
	125 自分の保育に対する同僚や上司からの批評や意見を、感情的にならず謙虚に聞き、時には反省することができますか	5	3			
	126 保育をする中で生じた疑問や悩みを、同僚や上司にわかるように説明することができますか	5	2	1		
	127 あなたは、その日の子ども一人ひとりの活動や姿を、記録に留めることができますか	5	3			

△質の向上 （研修・研究活動）	128	あなたは、どのような子どもについても、一人ひとりの課題をみつけ、ケーススタディーをすることができますか	5	3			
	129	あなたは、保育の悩みや疑問を解決するために、研究・専門書をみつけて、そこから学ぶことができますか	5	2	1		
	130	あなたは、他のクラスの保育について、疑問や感想・意見を、お互いの向上のために、言葉に配慮しながら素直に述べることができますか	5	3			
	131	あなたは研修で得た内容・成果は、園の職員にわかるように丁寧に説明し、意見交換をするために役立てていますか	4	3		1	研修に参加していない
	132	あなたは、積極的に研究グループやサークルに参加して独自に勉強していますか	2	4	2		
	133	あなたは、研修会の機会があれば、自費でも参加したいと思いますか	4	4			
	134	あなたの保育実践について、園長はじめ他の職員が把握できる保育日誌などの記録が書けていますか	3	4		1	